

刊夕日六月七

# 常磐毎日新聞

刊日

定価 一部五銭 五分五銭 郵費五銭  
 廣告料 五銭 十銭 二十銭 三十銭 五十銭  
 日曜祭日の日 休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

### 警備市制調査班

#### 視察日誌(四)

1 汚物掃除  
 未だ塵芥焼却場の設備がないので塵芥は空地に穴を掘って埋めてある。昭和十年度の汚物掃除費の豫算は七千八百四十圓である(参考書類第五號参照)

2 火葬場  
 市營の火葬場は一つあるが、衛生組合に請負はせてある。燃料を石炭を使ふので時間のかゝるのには平と同様である。昭和八年度に火葬執行人員總数は男百九十五、女百四十五、合計三百四十である。昭和十年度に於ける火葬場使用料豫算は一件平均二圓で、三百六十件分七百二十圓である。(参考書類第六號参照)

3 二業地  
 二業地は一席をなしぬ。近隣の農家で汲み取つて呉れるので面倒な問題は起らない。

4 下水道  
 未だ下水の設備はない。

5 隔離病舎  
 隔離病舎の設備がないので、法定傳染病患者は私立の病院で委託治療をしてゐる。入院療は一入一日五圓なので、なか／＼容易でない。

6 警備  
 公設一、組頭以下百三十五名、私設十二、組頭十二名、以下三百八十六名で組織されており、機械は自動

7 警備  
 公設一、組頭以下百三十五名、私設十二、組頭十二名、以下三百八十六名で組織されており、機械は自動

8 その他  
 平塚市は昭和四年四月平塚、須馬兩町を合併して市制施行の準備を進め、昭和七年四月市制を施行したのだが、市の方針として先づ市制を施行し諸種の施設は後廻しとする事にしたのである。故に未だ施設の見ることがないものである。

本通りは舗装されてゐるが街路狹隘にして屋並揃はず

釜屋商店、マルトモビルのみ如き宏壯な建物は見當らぬ

震災後の復舊未だならざる勢もあるが、何んとなく活氣のない町の様に思はれた。平塚と云へばあの結核療養所で有名な處かと云ふ考が先入主となつて居るに、實際以上に活氣のない處の様に思はれたかも知れぬ。

午後三時三十分平塚驛發、格府川驛附近の風光を賞し乍ら熱海驛に着いたのは午後四時三十分、玉久旅館に投宿した。風呂を浴びて旅の疲れを洗ひ流して遙か水平線の彼方の三原山の遠望を眺めながら夕食の膳に就た時の氣分は蓋し一生の中にその度々味ひ得ざる極上のものであつたらう

明日の視察は今一段の馬力をかけて平町政に御奉公せねばならぬと勵まし合つた。

★0000000000  
 ◎明日の献立◎  
 ○0000000000◎

【朝】味噌汁・豆腐  
 小付 胡瓜の酢取  
 【晝】鰯燻やき  
 そら豆甘煮  
 【晚】酒むし 鯉 ひらめ  
 あんかけ 芥子合へ  
 豚肉胡瓜

車御筒三、瓦斯倫御筒二、外手押十二を備いてゐる。組織、機械の数は問題視せぬが豫算(昭、十、經)八千二百四十圓は戸數八千を超へ、人口四萬に近く同市とし餘りに少額で、これで完全な働きが出来るものだらうか?。昭和八年度の出火數二十五、焼失戸數四十六、損害金額八萬二千七百圓に達してゐる点から見て懸念が深い。殊に常備消防として機關手二名、月五十五圓、助手四名、月四十圓が勤務してゐる筈なのに自動車御筒置場を見て機械の手入不良、備品の亂雑等は一驚を喫した。

## 開院廣告

今般左記ノ場所へ齒科醫院開設シ去ル六月廿五日ヨリ齒科一般診療ノ需ニ應ズ

診療時間 午前八時ヨリ 午後九時マデ

### 東條齒科醫院

日本大學 齒科醫學士 東條守義

### 池坊盛花華道會員募集

一ヶ年卒業 花型構成ノ原則ヲ解放  
 初心者ヲ標準トシテ華道ニ關スル理論及技術ノ大要ヲ確實ニ習得セシム

科目 華道應用盛花、投入、生花、立華

教授場 性源寺 平町長橋町午前九時ヨリ正午マデ  
 毎週金曜 平出張事務所 平町田町午後一時ヨリ夜間部アリ

講師 池坊華道會長 先崎翠峰先生  
 申込其他 御用ノ際ハ電話五二六番  
 (平出張事務所) 御利用下サイ  
 (味岡子之松氏方) 御利用下サイ

◎尙御希望ニ應ジ出張教授モ致シマス

### 新發賣一文字帽!

絶体日焦けせず 雨にも丈夫な  
 いつも新しい 實用新案帽

エバー・ニュー・ストロー

四菱編 五〇〇ヨリ  
 支那麥編 六〇〇ヨリ

お電話次第御覽に入れます

田町通り

## 玉屋洋品店

電話六五六番

### 最も理想的な 相互扶助機關

□共存共榮自力更生の大策□  
 中小商工業者の一大福音  
 石城中小商工互融會生る

融資御希望の方へは  
 □十錢の日掛をなし三十日以上掛金をすれば九十圓の御用立を致します  
 □僅か十錢の日積で満額拂戻の時には五分以上の割戻分配を致します

- 本會の事業
- 一、社會公共事業及慈善事業への奉仕
  - 二、懇談會併精神修養講話會
  - 三、會員の吉凶慶弔
  - 四、人事百般の相談
  - 五、法律無料相談
  - 六、診療救恤の補償
  - 七、納税ノ代納事務取扱
  - 八、勤儉蓄積の奨勵
  - 九、小資本の融通
  - 一〇、會員の特典
  - 一一、會報の發行
- 相互扶助機關

### 石城中小商工互融會

福島縣平町搔樋小路一番地

## 外科 内臓外科

レントゲン線

病室完備

醫學博士 諸橋鐵彌

◎新川町二七 (電四六四)

## 市原醫院

平町田町(電一一四番)

内科 小兒科 市原卯太郎  
 外科梅毒淋病 市原三三男

入院隨時

# 地下探掘の条件は

## 技術者に判定委嘱

### 昨日の論戦火華を散らす

### 解決の鍵何れに

磐城炭礦申請に係る平町の地下探掘に關し最後の態度を決すべき平町議の協議會は昨日午後二時より町會議事堂に開會、平町の盛衰に關する重大問題の討議として町民の注意を涵起し可成りの傍聴者が詰めかけ場内に緊張漲る、先づ青沼町長から礦山監督局側の平町に提示した三ヶ條、即ち

三ヶ條の内何れを探る事が平町萬全の策で、我々の常識に依つてのみ決すべく、餘りに重大過ぎる問題であるが故に専門技術者の科学的判定を求めて調査研究を遂げんが爲め監督局側への回答期間を本週末日迄延期すべきである

と動議を提出多田井、根本、鈴木、川崎、吉田(寅)の諸氏夫々独自の見解を力説して佐々木氏の動議に賛成し是れに對して野崎副議長は事茲に至つては期間延期の請願の至難である事となつた

### 舗装の前提

### 国道を視察

### 土木局技師來郡

二、古川を起点とし同河川の直下を中心としその南方の地下探掘を容認するも、その北方地下を不採掘地帯とす、但し書前項同様

内務省土木局小澤技師は東北振興に關する東北各縣の道路状況視察の歸途來る九日來郡湯山山形屋旅館に一泊して十日郡内主要道路を視察する、丹野土木主事が案内に當るが同技師の視察内容

### 磐城女競技指導

高等女學校では今六日より三日間東京文、大學選手吉澤宗吉氏を招聘走り、走高跳、圓盤投、槍投、砲丸投、十米障礙競走等のコーナーをうけると

澤宗吉氏を招聘走り、走高跳、圓盤投、槍投、砲丸投、十米障礙競走等のコーナーをうけると

### 藥業報國

#### 組合を結成

星製藥關係の協議  
星製藥業組合創立準備委員會は今六日午前十時よりマルトモホールで開かれ本社より五十嵐部長出席關係者四十餘名參集し前記組合

### 菜種製油の工場

#### 九月から操業開始豫定

既報石城販賣利用組合が工費七千餘圓で大浦農會倉庫附近に建設中の七十七坪總煉瓦建築菜種搾油工場は此程基礎工事を終り豫て福岡縣に注文して置いた新式搾油機も到着したので本週末迄に工場を建設する爲め晝夜工事を急ぎ八月から機械の据付を終つて九月上旬から操業を開始する豫定である

### 菜種栽培講習

販賣利用組合は本月十七日より三日間郡山本場の追技手を招ぎ双葉郡久之濱外三ヶ村で菜種の栽培講習會を催し出席者には菜種原紙を無料で配布すると

### 巡迴診療

#### 平署の日割

平署駐在巡迴診療班は近く左記日割で無料診療を行ふ  
十二日川前 十三日荷路

### 電話至急買度し

(姓名在社)

### 東京短期(本日)

本年度經濟更生指定村に決定した山田、夏井、好間、鹿島の四ヶ村に對し縣は來る廿一日午前九時より團體事務所樓上に各村長並に農業技術員等を招ぎ更生計劃樹立に就いての指導會を開く

### 經濟更生

#### 指定村指導

夫 十四日貝泊 十五日石住  
内郷修身講習 内郷村教育會では來る十、十一

### ガソリン車

### 愈よ初見參

來春三月から平驛を中心として出現するガソリン車の運轉開始は水戸運輸事務所準備中の處愈よ明春三月一日より平一湯本間、久ノ濱、小川間の二線に實施すると本日五日平驛に通報し來つた

### 着物窃取

三坂村大字中三坂字北ノ内五五田村郡飯豊村生れ大工吉田己之吉(四)は去る四日同村字日向二五農白石時男等、軒下干してあつた衣類

### 平町人事

△横濱市鶴見區菅澤町一五一石澤味一氏(四)材木類三点時價七圓餘を窃取した事發覺昨日平署に檢舉された

期	米
一節	三〇〇
二節	三〇〇
三節	三〇〇
四節	三〇〇
五節	三〇〇
六節	三〇〇
七節	三〇〇
八節	三〇〇
九節	三〇〇
十節	三〇〇

藤沼醫院  
平町・紺屋町  
電話五〇七番

# 花を讃美

## 病める人々へ

### 花束を献げて

#### けふ第二校の花祭り

#### 少女達の優しい演技

平第二小學校の花祭り學藝會は今日午前八時半同校講堂で催された花を讃美し花を感謝する純情の少女達が花の精を祭つた美しい雰囲気の中に先づ自治會長近藤シヅイさんの開會の言葉に

#### 言葉に

始まり花靈に對する禮拜について千葉校長の感謝供養の詞あり既報プログラムの順序に依り可憐な生徒達の演技があり一時閉會したが參會の來賓父兄は無心の少女達の素晴らしい

#### 演出に

心から讚嘆した尙午後は係引導引率の下に市内病醫院を歴訪して約二百名の就床患者に花束と學藝慰問品を贈呈したが同校の花を贈るの言葉「左の通り

此の世の中で最も美しいものは何かと尋ねたら何と答へるでありませうか古の詩人は、天の星、地の花、人の愛、これら三つを美しいものゝ極みである歌ひましたがその中でも花は神の奇麗な御心を表はしたるものなぞうです、實に花は地上の萬物を淨化し人の心を美化して大聖の心に導きます

昔から「花を賞する者に悪き人なし」といはれて居りますが此の世の人々が花の様に奇麗な美しい心を持つたならばうらみもいさかひもない極樂の淨土とかはることでせう

でも此の花の心を心として世に處したいと念願してゐるのであります、我が校では毎年七月七日を「花祭り」として花の精を一堂に祭りこれを讃美し花に感謝しその香しい中

#### 二七電話で

#### 平署を愚弄

#### 脅喝犯人の所爲

#### 遂に逮捕

昨五日午後八時頃平町福宣町旅人宿熱心湯事件ステ方の上り込んだ壯漢が小遣錢を貸して呉れと強要家人に暴行を働かんとするので平署に急報署員がオートバイで急行した處既に逃走後の事として直に附近を捜査した處被害者がアレが犯人ですとの知せに通行中の男を引

### 明日のラジオ

今晩の部  
後六、〇〇 子供の時間  
ラジオ遊び「七夕さま」吉田幸  
後六、二五 講演「雷はど

不審を抱き同館事務員に聞けば全然左様な電話を掛けた者はないとの返事に新選組の勇者も狐につつまれた様にグアとなつたが當直の渡邊温部長は直に右の電話の出處を郵便局に照會した結果二丁目そば屋藤よし方からと判り家人を呼出して取調ると三十前後の單衣を着流した客が掛けたと判りその人相は前記熱心湯を強喝した犯人と同一なのでど

#### 夕暮の墓場に

#### 看護婦の悲鳴

#### 暴漢其場で捕へらる

錦村昭和人絹工場看護婦黒田キヨさん(二)假名一が昨五日午後六時頃會社の歸り途を急ぎ同村中田原地内墓地の細路で淋しい場所に着た後から追掛けてきた若者が襲ひかゝつて咽喉を締め暴行に及ばんとしたのキヨさんは必死となつて

#### 玄能を揮ひ

#### 後頭部を亂打

双葉郡上岡村大字上平岡字上市原一〇八農遠藤幸助(三)は昨五日午後零時卅分頃同村同字一五〇三瓶寅壽外一名を殺害せんと玄能を携ひ亂入同人外一名の後頭部を亂打し全治三週間の重傷を負はせ附近の者が馳付け取押へられた原因は加害者と被害者は異母兄弟で財

#### 自殺を

#### 口走る男

湯本町字傾城四〇居住坑夫長濱正造(三)は五月以來神經衰弱で自宅に靜養中の處去る四日家人の不在に家出

#### 洗濯中に

#### 血塗れ悶死

平町大町居住丸通運送店荷揚夫村田幸吉さんの妻ツギ(五)さんは本六日午前九時頃自宅裏で洗濯中俄かに吐血し全身血塗れとなつて悶絶死亡して居るのを家人に発見され木村病院に收容手當を加へたが間もなく絶命した届出により平署員が検

#### 永戸村の架橋

水監督所は近く着工する永戸村字渡戸地内時平橋の架替工事を行ふ爲め来る八日午前十一時より同所内で入札に附すると

### 明日の部

今晩も明日も南東の風曇時々雨

小林光政「青森林檎の誇り」須佐寅三郎  
後八、一〇 一、俚諺と歌  
後八、一〇 二、説教節、山莊  
追分外 二、説教節、山莊  
太夫鳴子唄之段「若松若太夫」  
後九、〇〇 時事解説  
後九、三〇 時報「ニュー」  
氣象通報 番組豫告

前九、三〇 ラヂオ「界見物」ドイツ「三輪真吉」  
前一〇、〇〇 日曜禮拜大阪キリスト教會中繼  
前一〇、四〇 講演「私生兒に關する諸問題」和田子一  
前一、一〇 講演「出雲の玉錦について」福島右三  
前一、五〇 都市對抗野球東北豫選 仙臺球場中繼  
後〇、五〇 (滿洲より)「國境點描」安東驛内及鴨

後六、〇〇 子供の時間  
お話「故小野さつき訓導を憶ふ」大内隆雄、小野さつき先生の教へ子として「森さよ」  
後七、三〇 日曜特輯「ニュース演藝」森英二郎外  
後八、〇〇 詩の朗讀「北原白秋詩集より」太田綾子  
後八、二〇 長唄「常磐の庭」梓屋六左衛門外  
後八、五〇 日曜講談「高野長英」大島伯鶴

緑江橋畔中繼  
後六、〇〇 子供の時間  
お話「故小野さつき訓導を憶ふ」大内隆雄、小野さつき先生の教へ子として「森さよ」  
後七、三〇 日曜特輯「ニュース演藝」森英二郎外  
後八、〇〇 詩の朗讀「北原白秋詩集より」太田綾子  
後八、二〇 長唄「常磐の庭」梓屋六左衛門外  
後八、五〇 日曜講談「高野長英」大島伯鶴



# 明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島征史

## 運命と戀 (七)

「が、おふくは其心の吹きを決して、おもてにあらはさずあくまで女性の容姿をすてず、らしやめんとしては勿體ない程氣品のある顔容で、つつましく控えてゐた。」

大久保はちよいと良順に流し目をくれながら用心ぶかく話してをる。

「で、左様な次第で征韓派はます〜、結束を固めて参る。佐田、森山ごときの征韓主唱から轉じて今日西郷江藤などが主謀し、すこぶる憂慮すべき事態になつてきました。」

パークスは胸を張り肩をそびやかしながら

「西郷はなか〜細心な男だといふではありませんか或は政争の具として征韓論を唱へるのではないかな。」

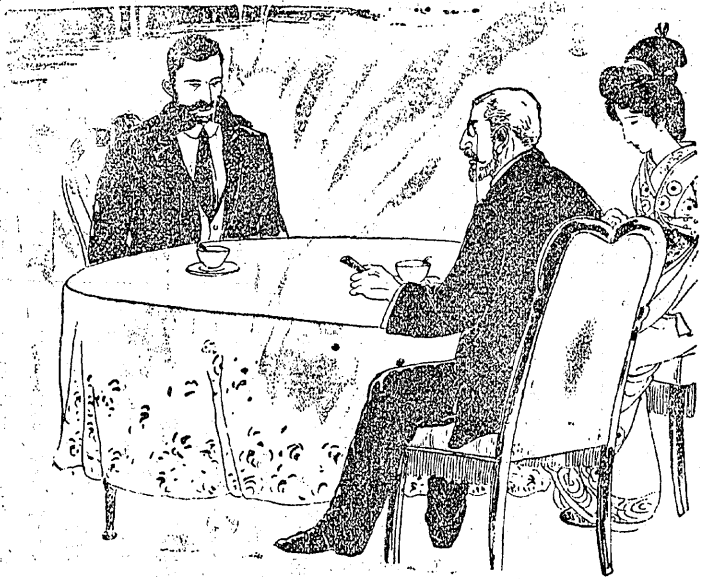
西郷が新政府の首位をねらつて居るか知れぬよ。」

「いや、西郷にはそんな野心はありません。内政には不向きだと自らさつてゐる男です、したがつて大ざつばな外政といふよりか無鐵砲に、外國と戦争をして領土をひろげる……といふ」

た風な空想によつてをるのです。」

「うむ、小國日本が外國といくさをするなど、それは空想でもないけないことだ。」

「さうです。今日國內の秩序さへまだとのはぬに巨」



額の軍費を投じ、内政を放棄して戦争に全力をそ〜く

なぞ國をほろぼすものですわれ〜は死力を盡して彼等の征韓論を叩きつづさうと考へしをります。」

「一日も早く西郷のごときを内閣から追ひ出すがよろしい。」

「しかしまた、吉之助を地」

方へ追ひやつてしまふと、これもまた厄介です、今日地方には征韓陰謀の浪人團が無數にある。彼は政府を追ひ出される時つとこの失業浪人の秘密結社を煽動して自力で朝鮮征伐に出かけるおそれがあります。さうなるとなほさら困る。」

「歡州の、新しい思想感情をつぎこんでやるとよろしい。」

「さうです、吉之助を外國漫遊にやつたら……と小官は思案してをります……。」

**外科**  
X光線科  
性病科  
外科  
科  
平町田町  
**安齊外科醫院**  
電話四七五番

**新車御披露**  
素晴らしい乗心地の!!!  
三十五年式流線型新車が参りました  
是非御試乗御利用の程を御願申します  
平二  
**三井タクシー**  
電話六八五番

9.5 m.m  
**PONY**  
CINE-CAMERA ¥ 18.00  
PROJECTOR ¥ 17.00  
**NISHIMURAY-YAKUHO**  
TAIRA-2. TEL 3

之助もきつとよろこんで出かけるでせう」  
ふたりの密語は西郷一人の進退に關して、いよ〜微に入り細を極めてゆく。しかし良順のおふくは今それどころではない。振袖の下にかくれてゐる織手が日本の象牙のやうな指が薄

耳鼻咽喉科専門  
**大和田醫院**  
平町南町一六(電話一七〇番)

**盛夏服の大賣出し**  
評判のよい信用堂のレデーメイド  
背(單背廣三ツ揃(シルクボーラ)拾五圓ヨリ  
廣(單背廣上下(シルクボーラ)九圓五拾錢ヨリ  
服(白グニツト折衿上下)四圓五拾錢ヨリ  
立衿(紺黒セル上衣)參圓五拾錢ヨリ  
上衣(キヨリ)一圓四拾錢ヨリ  
婦人ホームドレス又男女ベビー服大特賣中  
ホームドレス一圓ヨリ、小供ベビー服十五錢ヨリ  
男小供カツター上衣四十錢ヨリ、外豊富に取揃へて  
有りますから御散歩がてら一度信用堂へ御立寄り下さい。  
お電話が有り次第御届け御覽に入れます。  
洋服の御用命は **信用堂** へ  
平町三丁目 電話六一三番

院長 醫學士 高久忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽清  
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科  
平町田町 電話五一三番

精(性)力減退  
陰萎 早漏  
神經衰弱  
憂鬱 症  
記憶力減退  
老衰 疲勞  
視力減退  
價二圓、三圓、五圓、送料十四錢、殖民地二十七錢嚴封急送  
調劑元福島縣浪江町 松齡堂田村本家